

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

1年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○平仮名の発音や読み書き、基本的な文章の読み取りは概ね達成している。（平均90%以上） ○促音や拗音の定着、考えを文章で表すこと、話すこと・聞くことに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の学習を1文字ずつ丁寧に進めるとともに、ひらがなの確認も併せて行い、知識・技能の定着を図る。また、日常的に活動の中で書く場面を取り入れ、自分の考えを文章で表すことができるようにする。また、友達と意見を交換する活動を取り入れ、様々な言葉や表現に触れる機会をつくる。 ○話すとき・聞くときのポイントを全体でしっかり確認する。また、練習する時間を十分にとり、児童が自信をもって話したり、集中して聞いたりすることができるようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の基礎的な内容については、約95%の児童が理解できている。一方、文章題を理解し解決する力の個人差が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の絵や写真などを活用して、内容を明確にすることで、問題の文意を捉えることができるようにする。式に表す際には、図で表したり友達へ説明したりすることで、表現力を高め、語彙力を上げていく。算数の用語や既習事項を使うなど、考えを伝えるスキルを身に付け交流させる。友達との考えの共有を通して、思考する習慣を身に付けられるようにする。 	

生活	○生活科見学で植物を見付けたり、アサガオなどの観察をしたりすることは意欲的に取り組むが、絵や文章で的確に表現する力がまだ十分ではない児童がいる。	○観察する際には、葉の形、色、大きさ、手触りなどの着目する観点を示したり、時間を十分に確保したりすることで、細かい点に気付かせ、丁寧に記録できるようにする。気付きを可視化、共有することで、今後の観察の仕方の幅を広げるようにする。自分が思ったこと、考えたことを友達へ話すことによって、文章化することへの抵抗感を少なくする。	
図工	○興味・関心をもって意欲的に活動へ取り組むことができている。しかし、めあてやテーマをきちんと意識せずに、短時間で作品を仕上げようとする児童もいる。	○活動中に様子を見ながら作品に対する質問や声掛けを行い、児童が時間をかけて、工夫しながら作品を作ることができるようにする。図工の授業での活動に対する意欲が継続するよう、授業の進め方や取り上げる題材、児童への声掛けを工夫する。	
体育	○意欲的に取り組める児童が多いが、初めてのことに抵抗があったり、勝敗にこだわり過ぎてしまい友達と協力できなかったりする場面がある。	○挑戦したことを褒める声掛けや、取り組む過程で成長した点を取り合げフィードバックするようにする。運動の得意不得意にかかわらず、体を動かすことを楽しめるように、各種の運動遊びの行い方を工夫する。勝敗へのこだわりを認めつつ、運動は一人ではなくみんなでやるから楽しいものであることを伝え、勝っても負けても成長できている姿を取り上げる。	